■ (社)兵庫県建築士会 加古川支部 ■

支部だより 第47号 ○

日々に春の訪れを感ずる気候になってまいりましたが、会員の皆様いかがお過ごしでしょうか。 さて、3月11日に日本中を、いや世界中を震撼させる東日本大震災が発生いたしました。戦後 最大の日本の危機とも言われております。被害に遭われた方々には、心からお見舞いを申し上げ ます。われわれ建築士会としては、出来る限りの復興支援を行う使命があると思います。具体策 を検討後、皆様のご協力をお願いいたします。

ところで、来る 4 月 16 日に当支部の通常総会を開催いたします。出来るだけ多数の方の出席をお願いします。西から『元気』を東の被災地に送りましょう。

(副支部長 鬼一 恭士)

- 平成23年度 第48回 加古川支部通常総会に参加しよう!!

◇ 平成23年度通常総会は、4月16日(土) に開催されます。

りました。幹事さんや世話役を務めて下さった皆様に感謝いたします。

場 所: 兵庫県東播磨生活創造センター (東播磨県民局)2階会議室 A・B

079-421-1136

総 会: 17:30 より(受付は 17:00~)

懇親会: 19:00 頃より プラザホテル 4 階 田村 (会費 3,500円)

※ 返事は、同封のはがきに記入し、**平成 23 年 4 月 8 日(金)** までに必ず投函してください。 なお、出欠にかかわらず委任状は必ず返送して下さい。

2011年新年会の報告

去る1月29日(土)の夕方に新年会が開催されました。(参加者29名) 私はボーリング大会ですがすがしいはずの汗を流した後、その足で会場の「ながさわ加古川店」までを参加した会員の最後尾について行きました。新年会の席でボーリング大会の表彰が予定されていたのです。しばらくは屈辱をかみしめるしかないと思っていましたが、新鮮な魚介類が並ぶ席に着いていると、ボーリングには参加されていなかった方が次々と到着するにつれて気分も雰囲気も楽しい宴会モードとなりました。古田支部長からは緩やかにも元気の湧くあいさつをいただき、その後は急展開の盛り上がりとなったように思います。新入会員の松尾智博様からお言葉をいただいたり、内藤康男様から他県の情報などのお話があったりと親睦の深まるよい会だったと思います。青年部会によるビンゴゲームも配慮の行き届いた進行により一層楽しいものとな

(吉備 考司)

新春ボーリング大会の報告

今年も恒例の『新春ボーリング大会』が 1月29日に「ニッケパークボウルにて開催されました。今年は15名の参加で6レーンを貸し切って熱戦が繰り広げられました。

昨年の屈辱(18 人中 15 位)を晴らすかのごとく今年は幸先の良いスタートをきり 1G 目はなんと 155 というスコアで一時トップを狙えるのでは?と、自分でもビックリでした。が・・・ やはり日頃の不摂生がたたり 2G 目は大失速大ブレーキ(実はこれが実力です)120 という結果になりました。ただ昨年とは違い総合 7 位という結果には大大大満足です。

さて皆様の結果報告ですが、まず3位:秋田克司(昨年は1位安定感抜群)、2位:竹下孝行(若さ?メタボパワー?)、そして栄えある1位:永井英三(なんと2G目191の好スコア、翌日体調が心配?)の結果でした。永井さん恐れ入りました。

何はともあれ初投げも無事終わり、楽しい時間が今年も過せて良かったと思います。皆様今年も宜しくお願い致します。

(鵜鷹 聖二)

東播ブロック事業の報告



"熱心に遺跡についての説明を聞かれていました。"

休憩の後、体験学習室でそれぞれの方が選んだ 黒色、白色、ピンク色の「まが玉」を先生の指導 のもと、穴明け、かたち造りの削り、磨き、の作 業をしてそれぞれのかたちのまが玉が出来上が 2月26日(土)午後1時30分から40名(内子供2名)の参加で開催されました。 ---兵庫県立東播磨考古博物館、遺跡での事---竪穴式住居などについてのスライドを見ながら楽しい講義を受けた後、外へ出て大中遺跡内の探索を説明も受けながらおこないました。



"大人も子供も一生懸命に削りました。"

りました。参加された方は、まるでカニの鍋でも食べている時のようにもくもくと作業を楽しんでいました。その後少しの自由時間で館内を見学し、閉会の挨拶の後、解散しました。楽しい1日を過ごせました。来年は社支部の担当と言う事ですのでどのような事業になるのか楽しみにしています。参加されなかった方も是非来年は参加して下さい。

(三上 武範)

アドレス登録のお願い

E-メールで新しい情報・大切な情報を送りたいと思います。 是非、アドレスを事務局に登録してください。また登録された方で、加古川支部よりのメールが届いていない方は連絡してください。

4

青年部情報(青年部会)

♪ 氷丘南小学校の中庭にあるビオトープに橋をかけてきました。

3月13日(日)、加古川市立氷丘南小学校の中庭のビオトープに、生徒たちや保護者とともに小さな橋をつくりました。士会の先輩でもあります加古川市役所の三村さんから「青年部で~~」というお声かけがあり、実現しました。ありがとうございます。

ただぱっと行ってぱっとつくるのではなく、私たち建築士会の活動を説明する場、生徒たちの「こんなビオトープにしたい」という想いの発表の場を設け、先生との打ち合わせを経ての開催。とても有意義なものになったと思います。ビオトープということで加古川上流の桧を使用し、おかげさまでビオトープにふさわしい橋が完成したと思います。生徒たちも大切に使ってくれるのではないでしょうか。

製作を通して子どもたちにビオトープのことやものづくりのことを学んでもらい、次世代に私たちの想いを継承する場を持てたことを、嬉しく思っております。

(島崎 淳二)







私は、高校でボランティアのクラブ顧問をおこなっています。ある養護学校へ生徒とボランティアに行った時の事をお話し致します。

そこは強度肢体不自由の子供達がいて、その子供達のお世話をしながら一緒にお祭りを楽しむといったボランティアです。もちろん重度なので外で楽しむ事は出来ないので室内で楽しむお祭りです。物を一緒に売ったり、買いに行ったり、オムツを替えたり、トイレについて行ったり、治療をしながら楽しんだり、車椅子や可動ベッドに付き添ったりさまざまです。初めは、養護学校の生徒も本校の生徒もぎくしゃくしていますが、1日一緒にいると何らかのコミュニケーションでとても仲良くなりその後は、養護学校の保護者の方からの「ありがとう」を聞いたり一緒に写真を撮ったりする姿を見て、私もつい笑顔がこぼれいつも元気をもらいます。これがきっかけで、ある生徒は養護学校の保護者の方から「先日は、子供のとても楽しそうな顔をみて嬉しかった。『お兄ちゃんと又会いたい。』と言うので時間の許す範囲でいいので、お世話しに来てくださいませんか?」と言われ、献身的にお世話に努めたようです。彼は、今年看護師になる為看護学校へ行きます。

又、ある2名の生徒は、「先生なんでこんなに重度の子と健康な子にわかれるん」と質問して来たので、私は「みんな意味があって生まれてきてるんだよ」と答え、うんちくを語りました。それからは、自分が出来るボランティアに参加し一生懸命努めてくれました。このボランティアに参加していなかったら、私もうんちくを聞かせる事もなかったかも知れません。でも生徒がこの「なんで?」と疑問をもってくれた事を私は嬉しく思い、ずっと私の心に刻まれています。"自分が人に必要とされる事" = "喜び"だと思います。その喜びを1人でも多くの人が経験してくれる事を願ってやみません。

(吉川 久似子)

連絡票

FAXか郵便で送付してください。(Eメールも可)

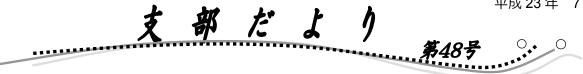
住 所 連 絡 先 E - mail	※ 住所・連絡先等の変更があるときは必ずお知らせ下さい。
事務局への連絡事項	試験 "監理員"参加意志 ・ に 〇 印 をお願いします。 ・ あり ・ なし 二級・木造建築士試験及び一級建築士試験の立ち会いです。 参加希望の方は先着順としますのでご連絡下さい。

*連絡網には住所は掲載致しません。

(社) 兵庫県建築士会加古川支部事務局 古田建築設計事務所内 FAX 079-422-8911 TEL 079-422-8881 〒675-0039 加古川市加古川町粟津 253 番地 サンマートビル 4F email: kenchikushikai_kakogawa@yahoo.co.jp

(社)兵庫県建築士会 加古川支部 ■

平成 23 年 7月



新支部長就任挨拶

兵庫県建築士会加古川支部平成 23 年度通常総会において新支部長として承認していただきま した永井でございます。他の新役員共々よろしくお願いいたします。

まず、前支部長の古田さんにおかれましては、2 期 4 年間の活動、ご苦労さまでした。これか らも、理事としてご指導、ご鞭撻をよろしくお願いします。

さて、この度の「東日本大震災により被災された方々に心よりお見舞い申し上げます」。地震 発生の日から 4 ヶ月余りたち、その被害の内容がわかってくるにつけ、その大きさに驚きと悲し みを感じます。また、東京電力の原発の放射能漏れによる被害の拡大がますます心配されますと ともに東京電力と政府のその対応にいきどおっています。一方では、復興に向けた動きが少しず つではありますが動きはじめています。私たちは、その復興のために何ができるのか、考えてい く必要があるのではないでしょうか。1 日でも早くその復興が進み、「被災された方々の生活が 元に戻りますことを心から願っております」。

このたびのような大災害は、長い歴史のなかでは、繰り返されてきました。以前、寺田寅彦が 大正 12 年の関東大震災の被害を見て「天災は忘れたころにやってくる」といいましたが、今は、 「天災は忘れるまでにやってくる」時代です。ここ 20~30 年以降は、大きな天災が世界各地で おこっており、日本でも繰り返されています。わたしたちは、16年前に「阪神・淡路大震災」を 経験しました。東南海・南海地震は必ずやってくるといわれています。また、山崎断層による地 震が起これば、この東播地域は、かなり大きな「ゆれ」(震度 6 強、7)におそわれると想定さ れており、その対応が必要となります。「建物、特に木造住宅の耐震化」や「家具の転倒防止」 等、身近なこと、それらを如何に実行していくのかを「地域への貢献活動」、「他団体との交流」、 「行政との連携」をしながら、会員のみなさんといっしょに考えていきたいと思いますのでよろ しくお願いいたします。

ここ数年、会員の減少(7月7日現在124名)による支部交付金や支部会費の減少から、非常 に厳しい予算のなかで事業をおこなっていかなければなりません。みなさんからのよいお知恵を いただきながら進めていきたいと思いますのでよろしくお願いいたします。また、いま本部では、 士会の公益法人化に向けて手続きを進めており、平成25年11月までの発足を予定しております。 これにつきましては、メリット、デメリットがあるようですが、今後の事業を進めていくのに支 障がでるようなことがないのか、また、事務が煩雑になるようなことにならないのか、その内容 を見ながら対応を考えていきたいと思っております。

ともかく、いろんな課題があると思いますが、「支部会員相互の親睦を図り」、「研修会や見 学会」等を、新しい役員さんをはじめ、会員のみなさんと相談しながら行っていきますので、み なさま方のご協力をよろしくお願いいたします。

以上で、新支部長就任のあいさつとさせていただきます。

(支部長 永井 英三)

平成 23 年度総会の報告



平成 23 年度通常総会は 4 月 16 日午後 5 時半より、兵庫県立東播磨生活創造センター 会議室で開催されました。出席者は26人、 委任状の提出は 45 人で、22 年度事業報告・ 決算報告、23 年度事業計画・予算案及び役 員改選について審議され、承認されました。

今年は上記のように役員改選の年で永井 英三さんが新支部長に選任されました。副支 部長としては鬼ーさん、矢幡さんと新任の

秋田さんが選任され、理事として増田さん、後藤さん、島崎さん、西本さん、鵜鷹さん、竹下さんの6人の若い力が加わりました。

今年度からは新支部長のもと、新たに加わった若い理事の皆さんで新しい活力のある加古川支部が運営されるものと期待しています。

私が支部長に選任されてから早くも4年が過ぎてしまいました。当初、加古川支部の会員であってよかったと思えるようになればと思い、メール連絡網の整備やホームページの作成、研修会・見学会の頻繁な開催等をと意気込みましたが、私の努力不足で余り多くのことが出来なかったように思います。ただ、この様な支部長の力不足を役員はじめ皆さんに補って頂き、なんとか4年間を乗り切れたように思います。この場をお借りして皆さまにお礼を申し上げます。

支部は支部長一人では出来ることに限度があります。皆さんの協力があってこそ、支部は魅力的になるものと思います。今後の皆さんの支部への力添えをお願いして、4 年間のお礼とさせていただきます。本当にありがとうございました。 (古田 充)

懇親会の報告

例年同様、総会後の懇親会に参加させて頂き大変有意義な時間を過すことが出来ました。毎年恒例であります、青年部のビンゴゲームも大盛況に終わりほっとしました。(新青年部会長:松本氏 名司会及び進行ご苦労様でした)ありがとうございました。

さて、今年は東日本大震災が発生いたしました。被害に遭われた方々には心よりお見舞い申しあげます。また、懇親会でも義援金の受付があり、微力ながら私も協力させていただき、今後も引続き応援・支援に努めたいと思っております。 (鵜鷹 聖二)



納涼 "ビアガーデン" 懇親会のご案内

支部会員の交流と親睦を深めるため、下記の要領で今年も納涼懇親会を開催いたします。 皆様におかれましてはお忙しいことと存じますが、会員が寄り合い「わいわい」「がやがや」ジョッキ片手に暑さをぶっ飛ばしましょう。奮ってご参加下さいますようご案内します。

日時 平成23年8月5日(金)午後6時30分より

ご都合の良い時間になるべく早めにお越し下さい。

場所 「サンライズキリンビアガーデン」 サンライズビル屋上

加古川駅前(加古川市加古川町溝之口 507 Tel (079) 424-9542)

参加費 会員 ¥2,000円

非会員 ¥ 実 費

募集〆切 平成23年7月30日(土)

別紙申込書によりお願いいたします。

(雨天中止の場合は、個別に連絡しますので連絡先の記入をお願いします。) 当日の連絡先 厚生委員会 長尾携帯 090-9216-2695

青年部情報 (青年部会)

青年部会主催研修旅行

今年度は、広島に行ってきました。尾道→竹原→広島市→呉というコース。竹原が重要伝統的 建造物群保存地区ということで楽しみにしていました。前回の琵琶湖の研修旅行の際、地元のボ ランティアガイドさんに案内してもらってとてもよかったので、今回も地元のボランティアガイ ドさんをお願いしました。

竹原は、江戸時代後期に製塩そして酒造業で栄えた地区だそうで、町並みが今もそのまま保存されています。製塩は赤穂で製造方法を学んできた人が始めたらしく、なんとなく親しみが持てました。今は竹原の町を舞台にしたアニメ「たまゆら」という女子高生たちの物語で盛り上がっていました。広島市内では平和記念公園、原爆ドーム。福島原発の事故のことを考えずにはいられませんでした。呉は戦前は呉海軍工廠において「戦艦大和」などが建造され、東洋一の軍港・日本一の工廠として知られていたようです。現在でも自衛隊の基地があり、大和ミュージアムがありと、現在でも独特の雰囲気がありました。また自衛隊の艦艇「おおすみ」の見学ができました。毎週日曜日に一隻の艦艇を公開しているようで、貴重な体験でした。てつのくじら館では潜水艦の内部も見学できました。艦艇、潜水艦などは、生活部分が最小限に設計されており、厳しさを感じました。しかし、食事はその中でも比較的充実させているように思いました。

駆け足の旅行でしたが、尾道ラーメン・もみじまんじゅう・お好み焼きと定番の食文化もおさえ、よい研修旅行になりました。 (島崎 淳二)

🌄 ファミリーツアーの報告



2月20日にユニバーサルスタジオジャパンに 行ってきました。

参加人数は 6 家族で 22 人でした。私たち家族は 5 年前に一度USJに行ったことがあります。当時は子供が小さく入れるアトラクションも制限があり又まち時間も長く 4 種類のアトラクションへ入った程度でした。その事もあって今回は思い切ってブックレット 4 (待ち時間を短縮するチケット)を購入しました。みんなが並んで待っている横を優先的に入れるので合計 7 アトラクションに入れました。(並んでいた皆さん申し訳ないです。) おかげで子供たちはフラフラになるまで遊び大変楽しんでいました。

帰りの車では嫁と子供は熟睡で運転が大変で したが久々の家族サービスが出来て有意義な 1 日となりました。 (後藤 英之)

高砂市における出前まちづくり委員会について

高砂での出前まちづくり委員会が、11月5日(土)午後から、高砂町内のまち歩き(見学)、その後、パネルディスカッション等を行い、11月6日(日)午前中に、「竜山石」をテーマに高砂市竜山周辺で開催予定。(本部 まちづくり委員会)

以上のような日程が決まりました。よって、会員のみなさまにおかれましては、よろしくご協力、ご参加をお願いします。

「おくやみ」

森垣正文様が、7月4日にお亡くなりになりました(享年70歳)。 理事、監事等として多くの活躍をされ、お世話になりました。 残念でなりません。 ご冥福をお祈りいたします。



検定試験にチャレンジ!!

私、高等学校の教員をしています。2年生のクラス担任をしているのですが、その生徒が先日ある検定試験にチャレンジしました。情報関係のしかも上級試験を受けるということでなかなか生徒たちにとっては合格するには困難な検定試験です。受検は希望者のみの受検でクラスから6名受検希望者がいました。正直6名という数字は過去の経験上、私にはとても多くうれしく思いました(例年は0名)。たとえ困難な試験であっても自分自身の向学やスキルアップのためチャレンジしようとする生徒の心意気を感じていたところ生徒たちから補習授業を懇願され、情報という分野外の学問であったが私も勉強し直し、生徒たちと毎日放課後遅い時間まで勉強会が始まりました。あまりの難しさに6名中3名は早々と戦線離脱。残り3名は歯を食いしばって毎日頑張りました。過去問題から推し量ると十分合格圏内に3名とも達する力をつけていたのですが、試験では例年に比べ新傾向の問題が続出。結果は合格者1名。早々に戦線離脱した3名を除き、毎日頑張った残りの3名は全員是非とも合格して欲しかったのですが、毎日頑張った生徒でも2名は不合格でした。ところが結果発表を見た生徒たちが「先生、毎日補習ありがとうございました!次回また頑張ります。お願いします。」とお礼を言いにきました。

何かと結果ばかりが問われることの多い世の中。確かに合格という成果を十分に叶えることはできませんでしたが、負け惜しみではなく、何か大事なものを生徒も私も得たような気がします。合格発表を見てイライラしていた私の心は、すがすがしく一気に晴れわたりました。 (西本 和樹)

この連絡・参加申込書はFAXかEメールで送付してください。(郵便も可)

参加申込書

記入欄が不足する場合は、複写してご使用下さい。

		i e e e e e e e e e e e e e e e e e e e
事業名	参加者 氏名 (連絡先電話)	何れかに 〇 囲み
納涼 "ビアガーデン" 懇親会	氏名 Tel -	会員 非会員
		会員 非会員
		会員 非会員
		会員 非会員

連絡票

住 所 連 絡 先 E - mail	※ 住所・連絡先等の変更があるときは必ずお知らせ下さい。
事務局への連絡事項	

*連絡網には住所は掲載致しません。

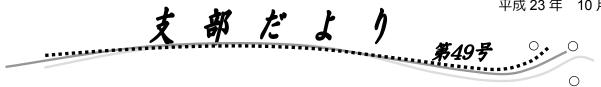
(社) 兵庫県建築士会加古川支部事務局 〒675-0017 加古川市野口町良野 418-17 間嶋建築設計事務所内 090-5240-6230(永井)

TEL 079-422-4130 FAX 079-423-4130

email: kenchikushikai_kakogawa@yahoo.co.jp

■ (社)兵庫県建築士会 加古川支部 ■

平成 23 年 10 月



秋たけなわの候、会員の皆様方に於かれましてはますますご健勝のことと推察致します。 朝夕もめっきり冷え込んできた今日この頃、各地の秋祭りも快晴のもと盛大に行なわれたことと 思います。御輿を担がれた方も居られるでしょうが、いまだに筋肉痛なんてことはないでしょう か?

さて、わが加古川支部も永井支部長の新体制となり早や半年が経過しました。各委員会も盛んに 活動し、今号にも案内が掲載されていますが、研鑽を積む研修が目白押しです。また、会員相互の 懇親を深める忘年会や新年会の案内も続々と配信されてくると思いますので是非ぜひ参加してい ただきたいと思います。

ところで、そんな事業を提案、協議、決定しているのが支部理事会で、理事は会員の総意代表と して任されているわけですが、理事会への出席率は残念ながら高いとは言えません。 厳しい経済環 境の中で、何もかもを切り詰めて悪戦苦闘しているのが私達の建築界です。なかなか士会の運営に まで参加しきれないのは理解に苦しみませんが、先述のとおり、会員の代表が理事ですのでご理解 とご協力をいただければと思います。

加古川支部は、翌々年に支部設立50周年を迎えます。未定ではありますが、記念式典、記念誌 発行、各記念事業等々を開催するべく準備も進めていかなければなりません。 50 年の歴史を築いて いただいた先輩方やこれから築き上げていく若い会員の皆様方とともにこの佳き日を迎えたいと 思います。最後に、会員の方々そして理事の皆様に今一度、支部発展のためお力添えをいただきま す様、よろしくお願い申し上げます。

(副支部長 秋田克司)

見学会開催のご案内(研修委員会) 平成23年度

研修委員会では、JR大阪駅の改修など、話題の多い大阪に注目し、大阪・中之島界隈の有名建 築物を巡る見学会を企画しました。特に綿業会館は、昭和初期に建築家渡辺節氏が設計、ヨーロッ パ各国のルネサンス建築様式を結集し、各階、各室に贅と粋を凝らした豪華な意匠が必見の施設で す。会員の皆様には、この機会を逃すことなく、是非ご参加くださいますようご案内いたします。

- 1. 日 平成 23 年 12 月 10 日 (土) 8:00~17:00
- 2. 集合場所 JR加古川駅北広場バスロータリー(8:00) 問部 または、JR大阪駅屋上「天空の農園」ゲート周辺(9:30)
 - ※ JR大阪駅までの切符は各自、購入してご参加ください。 見学会当日、切符代 1,280 円を別途お渡しいたします。
- ①JR大阪駅(平成23年5月改修) 3. 見学場所
 - ②綿業会館(渡辺節設計:日本の近代建築遺産)
 - ③適塾 (幕末の蘭学者緒方洪庵の旧宅。)
 - ④国立国際美術館(シーザー・ペリ設計:高さ50mのワイヤーフレーム・エン トランスゲートにより船の帆船と竹の生命力を表現。)
- 4. 会 ① 会 員:3,000円
 - ② 非会員:4,500円
 - ※ 会費には、各施設入場料、昼食代、加古川駅から大阪駅までの片道交通 費が含まれています。

5. 見学行程

9:30~10:30

① JR大阪駅見学 ⇒ 地下鉄移動

11:00~12:00

② 綿業会館見学(会館担当者の説明あり) 昼食(綿業会館レストランでの魚コース料理)⇒ 徒歩移動

12:00~13:00 14:00~15:00

③ 滴塾見学 ⇒ 徒歩移動

15:30~16:30

16:30~

④ 国立国際美術館見学 見学終了後、現地解散

準備の都合上、平成23年11月15日までに 6. 申込み期限

> 方 法 参加申込書により支部事務局又は永井支部長まで FAX、E メール、郵送、電話 等によりお申込みください。

7. 募集定員 20名

申込みが定員を超えた場合は、原則先着順としますが、非会員の方には、ご遠慮いただくこ とがありますので、あらかじめご了承をお願いいたします。

※ 当日緊急: 小西 090-7889-2626

納涼懇親会の報告

県青年委員長の山本と申します。加古川支部青年部会の皆さんには事業などに参加させて頂き大 変お世話になっております。

今回は、加古川支部の懇親会という事でお誘い頂き参加させてもらいました。参加者数は27名 で、支部長他の参加者が和気あいあいと、楽しんでおられました。私も初対面の方を含めたいろい ろな方とお話ができ良かったと思います。青年層の建築士会入会の一番のメリットでもある仲間づ くりを実践されており、今後の建築士会のあるべき姿ではないかと思いました。加古川支部青年部 の元気さと活動力の本質が理解出来た一日でした。





こんな貴重な会に参加できてよかっ たと思いますし、また機会がありました らと思います。今の立場を利用してでは ないですが、いろんな事業等にも参加し て皆さんがもっと気軽に参加できるよ うに目指していきたいと思っておりま

また何かの事業でお会いする事があ ると思いますが、気軽に声をかけて下さ い。今後も、青年委員会共々よろしくお 願いします。

(山本 幸治)

青年部情報(青年部会)

■ 嵐を呼ぶ!二級建築士試験製図講習会の報告・本試験終了!

今年も懲りず?にヤリました。

7月上旬から毎週土曜日 19:00~25:00 補習授業を含めウン百時間熱い講習をさせていただきました。9月4日の模試終了後、追い込み日程 9月6・7・8・9日を乗りきり9月11日が本試験。

例年のごとく午前9時頃に試験会場に集合。他の受験生達を尻目に最後の授業?------ 今年の生徒も個性豊かな面々でした。毎年いるんです…イラワレ役…今年はU君 (彼は他の人への見せしめみたいな感じになってしまった)。だけど、本試験ではほぼ合格レベルでした。ニヒルなNくん(この御仁、なかなか冗談を言える雰囲気やなかったけど最後にはご本人の口からジョークが出てきた)。ピンポン小雪こと(タレントの小雪似)日さん、それともうひとりの日君(この二人の熱心さには舌を巻いた)。超天然の I さん、ウルトラマイペースの T やん& T さん(特にこの T 二人には手を焼いた)。それもよい経験になった。------少しでも不安を無くすためにアホ話を交えつつ、生徒達の質問に答える時間である。しかし…今年はあんまりアホ話はでませんでした。そして毎年の事ですが、生徒達を送り出す前に渡すものがある。それは、テスト時の注意事項を箇条書きにした資料。そしてその資料の裏には、この 2 ヶ月間、頑張ってついてきてくれた事に対する労いの言葉、それと感謝の気持ちを認(したた)めた手紙(書いているうちに涙が出てくる…わしゃ泣き虫やからのぉ。)。…それと…合格鉛筆も渡します。------今年は、鉛筆の御祈祷が試験前日になってしまった。9月10日、仕事が済んでからいざ泉佐野までゴー!5時半に加古川を出て、8時前に到着、そして荘厳な時間をすごしいざ帰路へ…。途中寄り道をし、事務所に到着したのは朝の2時。それから資料をつくった(我ながら タフですなぁ)。------

試験から2日経って、生徒達から答案のエスキスが届き始めた。「お~(^O^)」や「だぼ(ToT)」と言いたくなる感想の入り交じった結果でした。まぁ、12月の発表を待つとしましょ。

影になり日向になりご協力いただいた皆様、ほんまにありがとうございました。名物講習から広がる縁…うれしいですね。

(松本 有司)

♪ 倉庫を建てるぜ!

昨年4月より、毎月第一日曜日に開催している「寺田池プレーパーク」の開催地の芝生広場に木造の倉庫を建てることになりました。壁は加古川河口の葦を下地にした漆喰仕上げ、屋根は土を乗せて屋根上で植物が青々と繁る(予定)緑化構造です。先ずは11月6日(日)に棟上げ予定です。作業はプレーパーク開催に併せて行う予定です。完成は来年の7月、寺田池のイベントに合わせて引き渡し予定です。地元の子供達と楽しみながら完成を目指したいと思っています。(島崎 淳二)

E-メールで

新しい情報・大切な情報送っています。

アドレスを事務局に登録してください。 また登録された方で、情報メールが届いてない方は連絡してください。

■ 新入会員の挨拶

☆ 齋藤 里奈

建築士会加古川支部へ入会した齋藤です。

まず、私の経歴を簡単に紹介したいと思います。 もともと、住宅に興味があったのと、何かを作る仕事がしたいと思い、5年前にそれまで働いていた仕事を辞め、建築系の専門学校へ入学し、建築の世界に転がり込んだという少し変わった経歴をしています。

専門学校卒業後は積算事務所で3年間数字との戦いの毎日でしたが、現在は神戸の設計事務所でインターン実習生として、手を動かし、考え、作る、ことに喜びを感じています。

今回、お世話になっている設計事務所の先生の勧めがきっかけで入会しましたが、今後は、積極的に 青年部会の活動にも参加し、モノづくりの楽しさをさらに実感したいと思っています。 そして、自分が 楽しめること、みんなで楽しむことを増やしていきたいと思います。

☆ 木村 聡一

始めまして。神戸支部から加古川支部に転入してきた木村聡一といいます。

事務所は「一級建築士事務所 建築工房SOL」として稲美町で事務所を構えて仕事をしております。 建築士の活動では、住教育支援チーム・ひょうごへリテージ機構 東・北播磨地区・姫路支部の建築談 議に参加しています。また、今年から研修委員会にも入りました。他にもひょうご防災特別推進員とし て防災の講師などもしています。

興味があるものにはなるべく参加していきたいのですが、今はいろんなものに手を出しすぎて動きにくくなってしまいました(笑)ので、少し控えようと思っています。

そんな感じですが、よろしくお願いいたします。



私の勤務する日本工科専門学校では、建築工学科と建築職人マイスター科の学生 14 名と教員 6 名とで、6 月 18 日から 5 日に渡り、大津波に襲われた岩手県の陸前高田市に木造仮設住宅の建設にボランティア活動として行って参りました。3 月 11 日の東北大震災を期に、我々は「何のために学んでいるのか」を改めて考えさせられ、学校のスローガンとして「学ぶ力でボランティア」を掲げ、自分達が学んでいることは、即社会の役に立つのだということを実践することにしたのです。

実際目の当たりにした被災地の光景は、テレビで見るよりも衝撃的で、阪神大震災を知らない世代の学生達は相当なショックを受ける反面、自分達がやらねばという意気込みも沸かしていました。

現地での目標を 10 棟建設とした学生達の活動ぶりには、「どうせ役には立たないだろう。」と思われていた現地の人からも、初日が終わる頃には「この子達はすごいことをしている。」と思われ、最終日には「もう少しこちらにいて手伝って欲しい。」と言われるまでになりました。あいにくの天候と余震により 8 棟しか建てられませんでしたが、学生達も学ぶ意欲や意義を再確認し、建築が成せることのすばらしさを体験できたようでした。

このような活動の趣旨を理解してくださったパナソニックからは 20 台もの充電ドライバーの寄付を、三菱商事からは費用の全額立替えを申し出てくださり、テレビや新聞などの取材で取り上げられたことや、建築世界会議や文科省からも発表の依頼が来るなどの社会的評価は、学生の励みになったことと思います。

活動の様子は、学校のブログで見ることができますのでご覧ください。

(小林 敏)

この連絡・参加申込書はFAXかEメールで送付してください。(郵便も可)

参加申込書

記入欄が不足する場合は、複写してご使用下さい。

事業名	参加者 氏名 (携帯電話)	何れかに 〇 囲み
平成 23 年度見学会	氏名 Tel –	会員 非会員
		集合場所 加古川 大阪
	氏名	会員 非会員
	Tel –	集合場所 加古川 大阪

連絡票

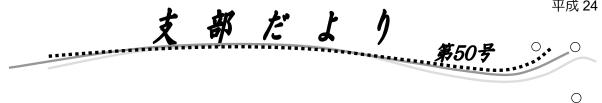
住 所 連 絡 先 E - mail	※ 住所・連絡先等の変更があるときは必ずお知らせ下さい。
事務局への連絡事項	

* 連絡網には住所は掲載致しません。

(社) 兵庫県建築士会加古川支部事務局 〒675-0017 加古川市野口町良野 418-17 間嶋建築設計事務所内 email:eiz-nagai@nifty.com 090-5240-6230(永井) TEL 079-422-4130 FAX 079-423-4130

■ (社)兵庫県建築士会 加古川支部 🛚

平成 24 年 1月



謹んで新年のあいさつを申し上げます。

会員のみなさまにおかれましては、良き新年をお迎えのことと思います。さて、昨年は東日本大震災や台風 12・15 号をはじめ甚大な被害をもたらした自然災害が頻発。日本の政治や世界の金融界の混迷。また、建築界においても、明るい兆しが見えない状況が続いています。

そのような中ですが、士会本部では組織、運営の改革のためのひとつとして、公益法人化への移行に向けて準備を進めています。建築士の社会的信頼につながる活動を行い、建築士の専門能力を生かして、地域や社会に貢献する活動を行うためにも、この公益法人の認定を目指しています。この加古川支部もそれに向けて協力、準備を進めていこうとしておりますのでご理解、ご協力をお願い致します。

これからも、少しでも多くの会員をはじめ、そのご家族や地域のみなさま方が、楽しく参加できる見学会、研修会等を企画していきます。また、青年部におきましては、地域とのふれあいを通じた活動もしています。その活動を通じて、その輪を地域にひろげていければと思います。平成25年度には、創立50周年を迎えることになります。よって、その準備もはじめる必要がありますのでご協力の程よろしくお願します。それでは、本年もよろしくお願い致します。 (支部長 永井 英三)

√「新年会&新春ボーリング大会」のお知らせ 厚生委員会

支部新年会及び新春ボーリング大会を下記の通り開催いたします。年明けのお忙しい中とは存じますが、豪華賞品も用意しておりますので初投げを楽しんでいただいた後、盃を交わしながら情報交換に花をさかし、支部全員で新年の門出を祝いましょう。

日 時: 平成24年1月21日(土)

17:15 受付

17:30 ゲーム開始 (19:00 までにゲーム終了し、新年会会場へ徒歩移動)

19:00 開宴(参加者集合しだい)

表彰 ボーリング大会優勝者 参加者全員に賞品あり

宴会余興 ビンゴゲーム 豪華賞品多数

新年会 「**ながさわ 加古川店**」(ニッケパークタウン東隣) Tel (079) 456-7775

参加費 : 新春ボーリング大会 会 員 1,000円 (2 ゲーム、貸し靴代含む)

非会員 1,200 円

新年会 会 員 3,000 円

非会員 実費

スタッフー同、皆様のお越しをお待ちしておりますので奮ってご参加くださいますようお願いします。 平成 24 年 1 月 16 日(月)までに連絡・申込書にてご連絡下さい。

── 平成 23 年度見学会(大阪近代建築見学会)の報告

もっぱら職場と家を往復し、最近あまり市外に出る機会がなく、充電が必要と思っていた私ですが、12月 10日(土)の見学会で感じたことを少し書いてみたいと思います。

見学会では、大屋根など増改築を行った大阪駅を軽く見学した後、本町まで地下鉄で行き綿業会館を見学、 昼食を会館の食堂でいただいた後、大阪の中心ビジネス街を徒歩で中之島方面に向い、緒方洪庵ゆかりの適 塾を見学、その後、徒歩で中之島の国立国際美術館へ行き、現代絵画と芸術を堪能しました。

綿業会館は昭和初期に建築家渡辺節が設計し、その下で村野藤吾が図面を書いたそうです。高価な材料を さりげなく使い、デザインされた内装、将来の冷暖房の発展普及を見越した設備への配慮などの説明を聞き、 設計、建築はこうありたいと素直に思いました。 適塾では大阪の町屋屋敷を初めて体感しました。中に入って思ったよりは天井が高いこと、通り側の中庭と屋 敷奥の前栽の 2 つの中庭空間が明るさと拡がりをもたらし、現代よりも生活の豊かさが感じられました。また、 ここで幕末の志士たちが生活し、切磋琢磨した痕跡を見つけ不思議な感動を覚えました。江戸幕末の動乱から太 平洋戦争の空襲、その後の経済成長、バブル期を奇跡的に生き残った町屋です。

適塾から中之島までの移動では大阪ウォーキングを楽しみながら、リーマンショック以後、世の中不景気であ



まりいい話も聞かないし元気がないから大阪もそうだろうと思っていたのですが、そこかしこに新しい高層ビルが建ち、再開発関連の建替え工事が進行しています。そしてその建替えがどれも超高層建築物。建替えの度に高層化していく活気と次の建替えのときはどうなるのだろう。これでいいのだろうかと余計な心配をしてしまいました。

最後に、休日の1日を大阪ウォークしてみて感じたことは、仕事を離れて のんびり周りを見渡すことは、良いことだということです。会員の皆さん、 これからも研修委員会の見学会等への参加をよろしくお願いたします。

(研修委員会 小西敏文)

■ 東播ブロック事業

秋の北播磨ー多可の里で「杉原紙研究所」見学と紙すき体験に参加してきました。11月 26日(土)多可町で 社支部主催の東播ブロック事業です。

今回は、見学、体験場所を含め移動距離があり、又、参加者も加古川支部 8 名、柏原支部 5 名、明石支部 13 名、社支部 25 名、の総勢 51 名と多人数であり、バスでの移動でした。妙見山の山麓にある地域学習施設「那珂ふれあい館」に集合して、東隣に位置した古墳公園を見学、約 1400 年前に作られた古墳群を、地元のボランティアガイドによる説明をうけました。

次にラベンダーパーク多可にバスで移動、もう秋も深まり!ラベンダーの香りと森林浴を満喫!とはいかず、 地元加美鶏の新鮮な卵で「たまごかけごはん」を食べ放題^^、十分すぎるほど堪能しました。

最後に県指定重要無形文化財に指定された、杉原紙「杉原紙研究所」で各自オリジナル色模様をつけて、冷たい水の中で紙すき体験をしました。出来上がった作品は後日手元に届き、さてこの紙に何を書こうか?思案中です。社支部のみなさんには、多数参加で色々とお世話になり有難うございました。 (副支部長 矢幡 稔)

青年部情報(青年部会)

プレーパーク倉庫棟上げ



11月6日(日)待ちに待った寺田池プレーパーク倉庫棟上げの日が天気予報では雨予報

当日も朝から生憎の曇り空で、今にも雨が降りそうな感じではありましたが、無事棟上げが決行されました。

基礎しかなかったところに、土台、柱、梁・・・と徐々に組み立てられ、その 風貌が現われてきました。

私にとって、棟上げを最初から最後まで見るのは初めてのことだったので、 みるみるうちに小屋が出来上がっていく様子に本当にわくわくしました。当

日の参加者は青年部会の方々、加古川冒険団のみんな、東播工業の学生さん達、そしてちびっ子達でした。

開始時はなんとなくよそよそしい感じでしたが、一緒に小屋を作っていく内にみんなが一緒になって手伝っていました。モノ作りを通して、いろんな方々と交流ができ、たいへん貴重な時間を過ごしました。また、屋根に上がってテッポウを打ったり、ルーフィングを貼るお手伝いをしたり、胴縁の墨出しをしたり、普段出来ない多くの事を経験させていただきました。

工事はまだまだ始まったばかりですが、これからも 多くのことを経験し、多くの人と交流を持てることに期待で胸がいっぱいです。今後の工程も非常に楽しみです。 (齋藤 里奈)

\sum

今年も燃えた【若い夢フェスティバル FORZA2011】

11月27日(日)に行われた"若い夢フェスティバル"で盛り上がってまいりました。今年で3回目の参加でございます。我々青年部のブースは、木工(廃材を利用した自由工作)を楽しんでもらうコーナーを担当しています。参加を重ねる度に少しずつ趣向を変えたりして、来ていただいた人達の反応を見て一喜一憂しています。

今年は、子供達に木造軸組工法のミニチュアハウスの棟上げを体験してもらい、上棟後に餅撒きをしよう! という企画。

題して「Let's 建前」

お隣の社支部さんと初のコラボ事業です。実を云うと、当初 "社支部さんにこのイベントに来ていただいて上棟体験をしてもらおう"と手前味噌な考えをしていた。しかし、社支部の部会長さんと話を進めていくうちに、話が怪しい雲行きに…「加古川さんに組み立てキット貸しまっせぇ~何やったら加古川さんでそれ使い回ししてもええでぇ~!返さんでええからなぁ云々…」と云うなんともありがたいお言葉をいただいた。なんと自分達で建前をしなくてはならなくなってしまいました。

迎えた当日…朝6時半に会場集合。皆で協力し会場の設営を行った。

例年は設営したのち、イベント開始まで近くの喫茶店で優雅?にモーニングと洒落込むのですが、今年はミニチュアハウスの部材を搬入せなあかんので憩いの時間はお預けとなった。そんなこんなでイベント開始時間。去年は開始早々から我々のブースは人だかりとなったのでいやが上にも気合いが入る。

しかし…全然人(子供達)が寄ってこない。仕方無しに我々身内で組み立て始めた。しかし、そうこうしている内に、何人か興味を持った子が来てくれたのでひと安心。社支部の部会長や県青年委員長、製図講習のOB達がチビッコ達と一緒に奮闘すること二時間。建った!棟に御幣を掲げ…メインイベントの餅撒き!辺りを見渡すと知らん間に人だかり。見た瞬間ゾッとするくらいひとが集まっていた。「餅蒔き開始」の合図とともに、ミニチュアハウスの上に登ったチビッコ達が餅を投げ始めた。

「こっち投げてぇ~」

「私んとこにもほってぇ」

老若男女関係無しに、あちこちで歓声が上がりました。いゃ〜なんちゅうか〜怖くなるくらいの盛り上がりでしたわ。大勢の人達を笑顔にすることが出来て、笑顔が見られて本当によかった。

照れ臭いけど、幸せの種蒔きをこれからもしていきたいと思います。協力してくれた皆様 本当にありがと う御座いました。 (松本 有司)

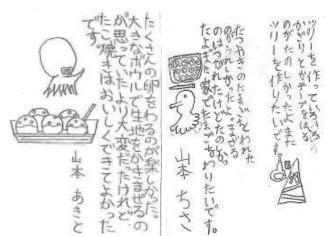
\sum

くれよん彩典の報告

12月4日(日)地元の授産施設の"ワークハウスくれよん"主催の感謝祭「くれよん彩典」のお手伝いをしてきました…ドサクサ?に紛れオヤジバンドでも出演もさせていただきました。

早朝7時半より会場の設営開始。テントを設営したり、模擬店の準備を 慌ただしく行う。毎年、我々士会は、たこ焼きコーナーを任されている。 やはり野郎が焼くのは心許ないので、毎年素敵な女性達に助っ人をお願い している。今年は新入会員の齋藤さん、製図講習OBの I さん、そして県





青年委員長親子に頑張っていただきました。やはり流石女性陣…手際がよろしいですなぁ~。我々男性陣も、一生懸命(ほんまでっせ!)お手伝いさせていただきした。ということで…たこ焼きブースは任せて、私はオヤジバンドの準備にとりかかる。出番は一番目。あれよあれよと本番を迎えた。出来は…まぁええがな。拍手してもろたし。あっという間に出番が終わり機材撤収、こっそりたこ焼きブースに戻り、裏方で目立たんようにお手伝いさせていただきました。天候にも恵まれ、ええ一日でございました。来年もがんばりまっせ。

山本委員長のお子様が「くれよん彩典」と「FORZA2011」に参加した感想を書いてくれました。 楽しい思い出が出来たみたいです。 (松本 有司)

ええはなしやん

第32回

先日、今年行われた技能五輪国際大会(ロンドン大会)のメダリスト発表会を聞きに大阪の心斎橋まで行ってきました。私の勤務する東播工業高校の卒業生である森将太君がこの度、建築大工部門で銀メダルを獲得し、この晴れの舞台を是非見にいかねば!と駆けつけました。ものづくりに取り組んでいる在学生徒も「一緒に行きたい!」と言うので6名を引率して行ってきました。

発表会は素晴らしい内容でした。紙面の都合上、詳細に内容を伝えられないのが残念です。要約すると、国際大会でメダルを取ることは目標ではあるけれども、目的ではない。会社、指導者、仲間いろいろな人達に支えられて出来たことであって、自分ひとりの力ではない。みんな様々な背景や葛藤を抱え、大変な苦しい思いをしながらも、チャレンジしてよかった。今度はいつか自分も指導者として、お世話になった分還元していきたいとのことでした。また高校生を意識して、これから志を持とうとする若い人達へのメッセージもくれました。

終わったあと生徒全員に感想を聞いたところ、全員が「話はちょっと難しいところもあったけれど、 自分もいつか技能五輪に出場したい。技能五輪を目指したい」との返事。自分の使命の重さとやりがい をあらためて痛感しました。 (西本 和樹)

- 県民局 まちづくり建築課からのお知らせ

平成 24 年 1 月 4 日に、建築確認申請書処理台帳 (加古川市--昭和 33~60 年度、高砂市--昭和 33~ 平成 11 年度)を各々の市に移管します。それぞれ調査の際は移管先にてお願いします。

広報委員会よりお知らせ

※ 募集中、皆様の情報 ※

"支部だより"は、加古川支部会員124名に向けて年4回送付しています。

支部からの案内と報告が中心ですが、設計業、建設業、行政等に係わる皆様からの案内など、楽しい情報を紙面の許す限り載せたいと思います。広報委員会までどしどしお寄せ下さい。広報委員も常時募集中です。

∬ 耳より情報 ♡

防災時の地域支援と垣根を越えたユニバーサル社会

~災害弱者を災害からどうまもるのか?~

主 催 東播磨地域ビジョン委員会 バリアフリー東播磨グループ

日 時 平成24年2月12日(日) 13:30~16:30

場 所 兵庫県加古川総合庁舎 2 階 CD 会議室

容 (1) 基調講演: 災害弱者とユニバーサル社会

講師:大塚 毅彦(おおつか たけひこ) 明石工業高等専門学校 建築学科教授

(2) 学生と視覚障害者らが考えた避難 インクルーシブデザインワークショップ結果発表 眼の会 代表 榊原 道真(さかきばら みちまさ)氏 明石工業高等専門学校建築学科4年大塚ゼミ

(3) 災害弱者の避難誘導

講師:栂 紀久代(とが きくよ)氏 大阪産業大学大学院客員講師

参加費 無料

内

定 員 約40名

申込締切 1月27 E

申し込み先はバリアフリー東播磨グループ FAX079-421-2289

問い合せ先 高橋賢吉まで、090 4904 4812

参加申込書

記入欄が不足する場合は、複写してご使用下さい。

事業名	参加者 氏名 (連絡先電話)		。 何れかを 〇 囲み	
新年会	氏名	Tel-	会員	非会員
			会員	非会員
			会員	非会員
新春ボーリング大会	氏名	Tel-	会員	非会員
			会員	非会員
			会員	非会員

連絡票

住 所 連 絡 先 E - mail	※ 住所・連絡先等の変更があるときは必ずお知らせ下さい。
事務局への連絡事項	

*連絡網には住所は掲載致しません。

(社) 兵庫県建築士会加古川支部事務局 〒675-0017 加古川市野口町良野 418-17 間嶋建築設計事務所内 email:eiz-nagai@nifty.com 090-5240-6230(永井) TEL 079-422-4130 FAX 079-423-4130